

# Predictive value of inflammation-based prognostic scores in patients with metastatic renal cell carcinoma treated with cytoreductive nephrectomy

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-01-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福田, 洋典 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032397">https://doi.org/10.20780/00032397</a>

## 学位論文の要約

Predictive value of inflammation-based prognostic scores in patients with metastatic renal cell carcinoma treated with cytoreductive nephrectomy (転移性腎癌に対して Cytoreductive Nephrectomy を施行した際の、有用な炎症性予後予測マーカーに関する研究)

東京女子医科大学大学院  
外科系専攻泌尿器科学分野

(指導：田邊 一成教授) ㊞

福田 洋典

Oncotarget Vol.9 14296~14305 (平成 30 年 3 月 6 日発行) に掲載

### 【目的】

転移性腎癌に対して Cytoreductive Nephrectomy (CN) を施行した場合に炎症性マーカーが予後予測に有用であるとの報告が散見されるが、どの炎症性マーカーの予後予測能が最も優れているかは検討されていない。転移性腎癌に対して CN を施行した場合、どの炎症性マーカーの予後予測能が最も優れているかを検討した。

### 【対象および方法】

1986 年 6 月から 2015 年 9 月までに転移性腎癌に対して当院にて CN を施行した症例のうちデータ利用可能であった 152 例を対象とした。炎症性マーカーは CRP、Glasgow Prognostic Score (GPS)、Neutrophil to Lymphocyte ratio (NLR)、Lymphocyte to Monocyte ratio (LMR)、Platelet to Lymphocyte ratio (PLR)、Systemic Inflammation Response Index (SIRI)、Systemic Immune Inflammation Index (SII) の 7 因子を用いた。

### 【結果】

炎症性マーカー以外の臨床病理学的因子の中から Overall Survival (OS) を

予測する最良の組み合わせを Cox 比例ハザードモデルを使って算出すると、年齢、Memorial Sloan-Kettering Cancer Center risk (MSKCC)、組織型、sarcomatoid の有無、clinical nodal stage、脳転移の有無、肝転移の有無が選択された。これら 7 因子の組み合わせを Base model とする。Base model の OS に対する concordance index (c-index) を算出すると 0.638 であった。Base model に各炎症性マーカーを加えると c-index はそれぞれ 0.672 (CRP)、0.674 (GPS)、0.685 (NLR)、0.670 (LMR)、0.666 (PLR)、0.652 (SIRI)、0.678 (SII) となり NLR が最も c-index を改善していた。また OS に対して多変量解析を行うと、NLR は独立した予後予測因子であった (hazard ratio:1.32;  $P < 0.0001$ )。さらに  $NLR \leq 3.0$  (中央値: 59.6 ヶ月) の患者と  $NLR > 3.0$  (中央値: 10.3 ヶ月) の患者の OS は有意に差を認めた ( $P < 0.0001$ )。

## 【考 察】

転移性腎癌に対しては、免疫療法時代の前向き無作為割付研究により、原発巣を摘除する CN を行うことによって予後が延長されることが示されている。そのため転移性腎癌に対しては CN が行われることが多いが、CN は侵襲性の高い手術であり、また全ての転移性腎癌患者にメリットがあるわけではない。故に CN を行う患者を選択する必要がある。本研究で炎症性マーカーのうちで NLR が最も OS を予測する精度が高いことが示されたので、NLR によって CN を行う患者を選択することが有用である可能性が示された。

## 【結 論】

転移性腎癌に対して CN を施行した場合、炎症性マーカーの中で NLR が OS に対する c-index を最も改善しており、また独立した予後予測因子であった。